

主催者より

大阪では、障がい者・若者・ホームレスなど「社会的困窮者」への就労支援の取り組みが、地域にねざしたパーソナル・サポートで、地道におこなわれてきました。

「誰もがそれぞれの状態に応じて働ける場」で包摂され、それがセーフティネットになるまちづくりを目指し、「働くことをささえる」パーソナル・サポートを、制度にしていくためのヒントを見つけたいと願っております。

連合大阪

連合大阪は、大阪府域のあらゆる産業に働く組合員45万人で組織している労働組合。
労働条件改善の取り組みとともに、労働環境の急速な変化に対応し、雇用の確保、公正なワークルールの確立、安心を保障するセーフティネットワークが組み込まれた、市民の参加を基本とする「労働を中心とする福祉型社会」をめざして活動を行っています。

大阪希望館

(住まいをなくした人の再出発支援センター)

「おおさかのまちをおおきなセーフティネットに」を目標に、労働団体や宗派をこえた宗教団体、ホームレス支援団体・社会福祉団体・研究者などの幅広いネットワークで、2009年7月に設立された。大阪市北区に相談センターと借上げ住居を開設している。住まいと仕事をなくして孤立・困窮した派遣や非正規など若者の希望の獲得をささえるために、「生活保護に頼らない総合的継続的支援」を、住居提供と求職活動・日常生活支援、精神的支援でおこなっている。



出演者・出演団体プロフィール

宮本みち子

放送大学教養学部教授。

ポスト工業化社会・高学歴社会における若い世代の変容を通して、この社会がどうなっているのかを見据え、社会的課題に対処するための研究・発表をおこなってきた。

現在、内閣府パーソナル・サポート・サービス検討委員会委員。ビッグイシュー日本の若者ホームレス支援プロジェクトにも携わっている。

主な著書に、

『雇用流動化のなかの家族』(2008)ミネルヴァ書房(共著)、『若者が《社会的弱者》に転落する』(2002)洋泉社、『若者の貧困を見る視点』『貧困研究』第2号(2009)など

障がい者就業・就労サポート協働機構

- ① 障がい者の「できること」に着目した就労支援事業を行う「社会福祉法人大阪府総合福祉協会」
- ② 公共施設の建物清掃を活用した就労訓練や障がい者施設の授産事業の充実と工賃アップに取り組む「大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協働組合(エル・チャレンジ)」
- ③ 障がい者の自立支援を当事者の立場から政策提案・推進している「NPO法人大阪障害者自立生活協会」
- ④ 西成区を活動拠点に「福祉でまちづくり」と「就労支援」を柱に事業展開を行う「(株)ナイス」

以上の4者で構成し、「働きたい」障がい者の3つのシーン「働き始める」「働き続ける」「働く場を創る」を支援する協働事業体。

NPO法人 ニュースタート事務局関西

大阪府高槻市を拠点に、「家族をひらく」をキーワードに、友達づくり(対人恐怖の克服)、親からの自立(親と離れて生活する)、社会参加(労働参加)の3つの目標を設定し、社会的関係作り重点をおき、不登校・ひきこもり・ニートとよばれる若者の自立支援活動を1998年から継続しておこなっている。

NPO法人 釜ヶ崎支援機構

日本最大の日雇労働者の街である大阪市西成区のあいりん地域(通称・釜ヶ崎)を中心に、就労支援・居住支援と日常生活支援の両面から、日雇労働者・ホームレス・社会的困窮者の自立支援活動をおこなっている。大阪希望館運営協議会の構成団体。

大阪希望館は、市民・団体からの寄付と助成金により運営されています。

2010年度は、大阪市の公募事業に選定され、一部委託事業をしています。

「大阪希望館」運営協議会への入会・寄付等のお問い合わせは、

●電話 06-6374-0225

●Eメール osaka.kiboukan@gmail.com

●ホームページ <http://www.osaka-lsc.jp/kiboukan/>

* 皆様からいただきました個人情報「大阪希望館」運営協議会に関わる通信・連絡等のみに使用いたします

